京城新聞

妄言妄評（七）

栗獄生

▲市俄古に於ける聯邦裁判所はスタンダード石油會社に對する二千九百萬弗の罰金を課する判決を却下したり、大統領ル氏は米國政府の檢事に控訴を繼續すべく命令せりロックフェラーの金力勝つ乎、ルーズベルト氏の正義勝つ乎、何れにしてもトラスト征伐は甚だ難事の業なり、

▲英國の埃及に於ける資金、蘇西運河の大株主、之れ英の埃及に於ける勢力なり、日本の韓國に於ける勢力は十餘萬の在留邦人なり、換言すれば國民發展の勢力なり、之あるが爲に列國は我の優越權を認めたり、若し在留邦人なかりせば、日本の韓國に於ける勢力は如何、無論今日の如き日韓の關係には進まざるべし、然るに世には總て官憲の力のみに依れるが如く思惟せるものもあり、誤れるの甚だしきものなり、在留邦人も亦自己の位置を自覺して毅然たる態度を持せざる可らず、

▲統監府設置以來最も目に立つものは黑塗の馬車なり、二頭曳の馬車なり、十年以前には人力車さへ自由に走る能はず、各國公使の如きも籐椅子の轎掛によりて外出したるものなり、（今尚殘存す）然るに今日では韓人の大官迄が馬車に乘る時代となれり、物質的の進歩は驚く可きものなり、

▲十年以前と變らず若々しきは醜業婦の跋扈なり、藝妓と稱する醜業婦が臆面なくやんごとなき御方の前に出で、自由自在に官舍等に出入することとなり、之を肩にきて平民を馬鹿にする賤女等の擧動こそ惜むべけれ、是も多少進歩の氣味あり、醜業婦の進歩杯は餘り嬉しからず、

▲泥峴に於ける官吏の勢力は最も進歩せり料理店は無論到る處に官吏の幅の利くこと頗るなり、官吏に非ざれば夜も日も明けぬなり、夫れも其筈なり、實際に於ては其實入りよければなり、

▲如何なる豪傑英雄と雖も、手足の如く動く郎黨なければ大業は出來ざるなり、格朗空の清教徒鐵騎の如く、羽柴筑前の七本鎗の如く、星亨の關東自由黨に於ける如く、山縣有朋の官僚閥に多くの部下を有する如し、伊藤公の勳位赫々たるに係らず、比較的勢力なきは乾兒の少きが爲なり、曾禰子は如何、子爵の爲には死だも惜まざる乾兒ありや、何れ是から作らるゝならん、否能く愛し能く分てば膝下に馳せて離れざらん然れども曾禰子は乾兒を集る如き[illegible]的俠客肌の人に非ざるなり、

▲日本にて正義を異向に振翳す人に大人物少なし島田三郎、故片岡健吉、故田口卯吉の如き其類なるものなり、華盛頓、倫古龍の如き正義の化身にして其人物の大なる、其他グラッド、バトンの如き大人物は到底日本に見られざるものゝ乎、

●消原狀況　居住邦人は高山鑛務株式會社出張所員及流寓人夫移住民等にして之等國所主任極力監督し居るを以て嚴て業務に精勵しつゝありて韓人に厭忌せらるゝことなし而して郡守は本郡觀上面出生のものにて數年前寧邊郡に移住したるものなるが昨年七月郡守に任ぜられ當時一進會支部長より來任したるものにして且つ貧家の出なるを以て人民は敬服せざる傾向ありて郡守も又强て人民を服從せしめんとするの意なきを以て官民親睦ならざる模樣あり且つ郡主事は富豪の陰なるも民間には信用なく目下墳墓所有權に關する訴訟の件に付寧邊裁判所に出頭し不在なるにより運書記代理せり又一般衞生に付ても農事繁多の時なるを以て各人に就き守備隊及警察共力し清潔施行に努力しつゝあるも城外は面長及洞長を衞生委員となし專ら實施せしめ巡察の都度監督し衞生思想を注入しつゝあり城内は道路狹く井泉は何れも道路の下方にあるを以て降雨等の際は汚水井中に流れ込むを以て道路の兩側に排水溝を穿ち井泉の周圍には排水溝及防水堤を設置したり又牛馬羊豚等の放飼を嚴禁しあるを以て是等の糞便は街路に散亂せず然れども豚小屋の設置は北韓全部の習慣として下部を豚小屋に上方を圊厠に使用し居れるを以て内に一定の圊厠なく小子女は之が爲め放便し不潔なるより邑内のみを區劃し一定の圊厠を設置せしめたりと

浮世ぐさ

●男女混浴禁止の始

明治五年四月東京府禁令の中に曰く「男女入込洗湯不相成候事」と又裸体、袒裼、春畫、ヱンギ物の賣買、文身の禁も此時にあり、東京雜誌五十號に「近頃裸体の禁嚴重なりされど釋迦は從前の通り裸体にて居られたり、然るに一向構ひ無之いぶかしき事なり、邏兵なんど一棒を加へざるにや」の一閑話を掲げられた事を見る以て當時のこと想ひやらるべし

新刊紹介

●實業の日本　例に依り優勢なり殊に米國大統領ルーズヴェルト氏が日本の靑年に與へたる親翰は却々に異彩を放てり其の他論說としては『如何なる方法にて煩悶を說くべきか』の外數種掲げあるが何れも翫味熱讀の價値あり（十一卷十五號十一錢東京々橋區[illegible]實業の日本發行）

●新衣裳　印刷鮮明時流に適合せし諸種の衣裳を掲出す（十三錢京都上京區堺町吉田耕方發行）

●東京經濟雜誌　論說としては「金融の景況」「保護貿易論」外數種を掲載せり（一千四百四十八號十二錢東京々橋區彌左衛門町東京經濟雜誌社發行）

●貿易　重要記事としては「印度事情」「日加貿易論」「巴刺西貿易實歷」等何れも讀んで參考となるべし（七號十錢東京々橋區宗十郎町日本貿易協會發行）

●日本經濟新誌　本號には「金融の景況」「貿易の景況」「何ぞ乘購の弊に構はる」等の論說あり（八號十三錢東京々橋區南紺屋町日本經濟新誌社發行）

●韓國貿易月表　關稅局にて編纂せるもの貿易者經濟學者の參考に資する所少なからず

●韓國經濟月報　度支部財務週報の附錄として編纂せしもの是れ又韓國最近の經濟事情を知る上に於て必要なるものなり

小說　新不如歸（六十八）

篠原嶺葉著

麹町なる猿渡勘兵衛が宅の奧座敷で、鼎座を成して語らひ居るは、主人勘兵衛と足柄平太と、尾花の未亡人奈加子の三人である。奈加子は足柄の顏を見て婉に、

「足柄さんは隨分女にかけては思ひ切つた事なさるのね、豈夫と思つたに襖を開けて私眞個吃驚しましたわ。」

足柄も微笑しつゝ、

「何も驚きなさるほどの事した覺えは無いですがね、ほゝ。」

猿渡は辭を挾むで、

「足柄さんの事だから、嘸思ひ切つた事なすつたでせうね。」

「なすつた所おやありませんよ、まあ聞きなさい愍うなんですよ、三河家で貴方と別れてから宅へ歸つて、態とコツリと裏から入つて、もう大低寢さそうな時分と思ひましたから、襖をスラリと開けて見ると、奈何でせう、百合子の手を握つて御自分の傍へ引寄せて其樣子ツタラ二目と見られあしないのです、あんまりな姿ですから有繋の私も開けるは開けたものゝ、開けた此方が極が惡くて其まゝピツタリと閉めた位です、眞個私驚いて了ひました。」

と、奈加子が云へば、足柄は其辭を遮ぎる如く、

「だつて貴方、あの位な事は私ばかりぢやない、誰でも爲ますよ。」

「ですけれど、あれだけの事ならですが、あの樣子から考へて見ると、あれまでに甚麼こと爲すつたか知れたもんぢやありませんよ。」

猿渡も其尾に從いて、

「無論ですとも、なかなか其點にかけては參謀官だけに作戰計畫は甘いもんですから甚麼秘密があつたか知れたものぢやありません。」

「君までが、常談ぢやない、何で那麼馬鹿な所爲が能るものか、手を握つたと云ふも猶且君方に賴まれて詮方なしに行つたのだ眞實那麼馬鹿な事は爲やしない。」

「假令なすつたツて可いぢやありませんか始から其積りだつたのですものね、猿渡さん。」

「然うですとも、何方かと云へば本望遂げらるゝのが、私共の望みなんですから、甚麼樂みがあらうがそりや少しも關はんです、しかしまあ足柄さんの御骨折で邪魔女を離縁なすつたので、こんな喜ばしい事はありません、でも能く承知して還つて行きましたね。」

「それが貴方、なかなか能く承知爲なかつたんですけれど、云はゞ不義した同樣に云つて無理往生爲せたやうなものです、自分等が樂の邪魔になつたり、島子さんの望を屆て遣りたいばかりに無理押付けに離縁は爲たものゝ、眞個考へて見れば可愛想なものですよ。」

「すると、此上は奈何爲たものでございませう。」

と、猿渡が善後策を尋ねると、

「もう恁うなれば、敏男の歸朝次第親の威光を笠に着ても、必然島子さんと結婚させますから、どうぞ御安心下さいまし。」

「どうか這度は貴方に多度骨を折つて頂かんと、私は足柄さんに三千圓と云ふ謝金を拂つたのですからね。」

「可うござんすよ、必然這度は得心爲せますから。」



株式會社韓一銀行第四期營業報告

（自隆熙二年一月一日至同六月三十日）

貸借對照表

負債之部

一資本金	五〇〇、〇〇〇・〇〇
一積立金	三、五〇〇・〇〇
一未支拂配當金	二四二・五〇
一諸預金	三三一、〇五二・一六
内譯	
定期預金	九六、五二一・一六
無期預金	一五八、二五三・二六
小額預金	二九、七一九・四一
預金ノ手形	三〇〇・〇〇
通知預金	三三、五〇〇・〇〇
別段預金	一三、七三八・三三
一前半期繰越金	一、一六八・六二
一當半期純益金	一三、五九一・〇五
合計	八四九、五三四・三三

資産之部

一拂込未完資本金	三七五、〇〇〇・〇〇
一無期貸出金	八〇、二七二・九〇
一貸付金	七二、七〇五・〇〇
一無期過振	五、五六九・一四
一割引手形	二五〇、七〇〇・〇〇
一家屋	八、一四六・九一
一什器	一、七二〇・二八
一金銀	五五、四二〇・一〇
合計	八四九、五三四・三三

損益計算

一金二萬二千二百五十八圓四十九錢　本期總益金
一金一千一百六十八圓六十二錢　前期繰越金
合計金二萬三千四百二十七圓十一錢
内
一金八千六百六十七圓四十四錢　本期總損金
計除
金一萬四千七百五十九圓六十七錢　本期純益金
此配當計算ハ左ノ如シ
金一千五百圓　準備積立金
金五千圓　別途積立金
金四千五百三十五圓　株主配當金
即年一割ノ計算ニテ舊株ハ一株ニ對スル金六十二錢五厘ヲ新株ハ一株ニ對スル金三十八錢
金一千三百六十圓　任員賞與金
金二千三百六十四圓六十七錢　後期繰越金
右ノ如シ

株式會社韓一銀行
頭取　趙秉澤
專務取締役　白寅基
取締役　白周鉉
取締役　朴[illegible]鎰
取締役　劉秉[illegible]
支配人　金鎭玉
監査役　裵東爀
監査役　成文永

前記ノ各項ヲ調査セシニ其正確ナルヲ保證ス
監査役ハ滿期故改選ス
裵東爀（再選）金時鉉兩氏被選

國境外の暴徒

我軍隊の討伐により地方に於ける暴徒は稍々鎭靜に歸し、地方人民は勿論各地に散在せる邦人も漸やく愁眉を開くに至れり、然るに鴨綠江及豆滿江の沿岸は逓夏の暴徒集合も頗る不穩の狀を呈せるものゝ如し、鴨綠江沿岸に集合せる暴徒は馬賊と氣脈を通じ[illegible]豆滿江沿岸に集合せるものは露領に移住せる露化韓人と氣脈を通じ[illegible]を得るなり、而して[illegible]所にあり[illegible]の如きは現に露領ヤンチカにあり、[illegible]陸地を國境外に[illegible]を見て突然國內に侵入し來るなり、露領にある暴徒は浦潮在留の日本人を襲擊するに至れり、上海電報には韓國暴徒七千人吉林省韓國ゝ境にて日本兵と衝突し日本兵四十名將校三名戰死せりとあり、此電報が果して事實なるや否は疑問なれども、[illegible]る暴徒が淸國領に續々侵[illegible]情報によりて察するも[illegible]如し、而して暴徒が稍々淸國の領地に侵入し彼の地にある無賴漢と[illegible]を通じて[illegible]は今後國際問題となるが如き重大の事件を惹起することなしとも斷言すべからず、然らざるも時々國境內に侵入し來りて暴動するが如きことありては防禦の煩に堪へざるなり、邊境開拓の任に當りつゝある邦人の經營にも多大の損害を與ふるのみならず、生命財產の危險を感ずれば終に在留し得ざるに至るなり、我當局者は無數逃竄の暴徒を如何に處置すべき乎、唯手を束ねて其爲すが儘に放任せざるべし、當局者は之が處分を速になすの必要を感ぜざる乎、余輩は露領に集合せる暴徒に對して深き注意を拂はざるべからずと信ずるなり、聞く所に依れば暴徒の中には鼠色の軍服と洋銃を携ふるもの尠からずと果して事實とすれば此等被服軍銃の出所等を探索し來れば如何の事なきとも斷ずべからず、夫是を考慮し來れば露領に侵入せる暴徒の行動は極て愼重なる方法により速に處置することの必要を感ずるなり、元來露領に移住せる韓人中には歸化せるもの尠からず、露國に於ては[illegible]耶蘇正教を信ずるものならば何人にても歸化を許すなり故に韓人にして名を露國風にイワノフとかニコライとか命名して歸化せるなり、此等歸化韓人にして暴徒に加はりたるものも必ずやあるべし、之等に對する處置は如何すべきや、問題は非常に錯雜し來りて甚だ斷側に立ち至るべし、暴徒と露化韓人と團結して革命黨の如きものを組織するが如きことありとすれば更に煩雜なる國際問題の起らざるにも限らじ、未だ地盤の堅からざる中に處置せざる可らず、然らざれば帝國の對外政策に影響を受るに至るべし、殘殘の暴徒として輕々に看過すべからざる問題也

東京電報

▲駐屯軍隊視察　本郷陸軍省人事局長は八月二日新橋發韓駐屯軍隊視察の途に就く

▲樞密院會議　本日臨時樞密院會議を開き日米間藥業所有權及び著作權保護條例を可決せり

▲戰後の軍隊　特命檢閱使が各師團檢閱の結果を聞くに元來戰捷後の軍隊は風紀紊亂の弊あるも我軍隊には此等の現象なく特に智識の進步と敎練の發達とは大に見るべきものありといふ（以上三十一日發）

▲軍隊の論功　十三師團其他韓國在留軍の論功に關する件は近々內閣に廻はし裁可を仰ぐ運びとなれり（三十一日發）

▲手形交換所の提案　來月三日開催の國債調査聯合委員會に關する東京手形交換所の提案左の如し

一、國債償還額は年五千萬圓を下らざる範圍に止む
二、右償還の財源は軍事費の繰延を以てす
三、向後常態にある限りは公債を募集すること

▲滿州遼陽附近の馬賊　滿洲遼陽を去る五十淸里の地に馬賊出沒し邦人の被害多く尙今後蔓延の兆あるに付警戒中なりとの公報ありたり（以上三十一日發）

地方電報

▲佛國軍艦の來去　佛國軍艦一隻本日午後二時入港し艦長以下將校六名上陸して市內を見物し午後六時芝罘に向け出航す（三十日鎭南浦發）

雜報

●度量衡器販賣　度量衡規則改正に關し改正、時期尙早、折衷の三說ありし事は既報の如くなるが今回愈々龍山なる倉庫に現存する度量衡器の內日本度量衡と同一の名稱命位に據りたるものは此の際一個人に委託して販賣するに決定し（但し衡器は日本法定のものと其の名稱命位を異にするも特に日本度量衡に對比し日本の名稱命位を併記し販賣す）京城仁川の外當分平壤、大邱、晋州の三箇所に委托販賣者を置くため近々の內農商工部より吏員を右の地方に派して觀察使道書記官及び警察部長と協議して委托販賣者を選定せしめ販賣者には相當の保證人を立てしむるか又は保證金を納付せしめて此れを許し商工業者が現に使用せる從來の度量衡器は漸次法定度量衡と引換をなす方針を以て一般に法定度量衡器使用の勵行をなす筈にして右の委托販賣役人は各地共成る可く韓人に[illegible]此れを命じ韓人に適當なる者無き場合には外國人に此れを許可せざる方針なりと右は急劇なる變革を避け漸次に日本度量衡制度の一致を圖らんとするものにして前記の地方に於て好成蹟を得ば普く全國各地に及ぼさるべき筈なりと云ふ

●一銀課稅問題（韓國金融界の革命）　第一銀行發行兌換券に對し韓國政府が課稅するなるべしとは本紙の數次報道したるところなるが昨發行の御用紙京城日報の記事は本紙報導の誤らざることを證明し[illegible]のなり右に付尙聞くところによれば度支部が本件に關し第一銀行に向つて命令を下さんとするや鶴原長官は極力之に反對したり而るに統監は[illegible]と認められ可然取計ふべしとの指圖に及ばれたるを以て茲に度支當局の[illegible]なり彌斷行するの運びに至りたるなりと云ふ目下交涉中の稅率は千分の一、二[illegible]との事なるが之にても第一銀行の負擔は少々輕からず或は同行收益の全部を犧牲に爲すこと〻なるやも計られざるを以て同行に於ては此際兌換券發行の特權を拋棄するやも知れず斯る場合となれば韓國政府に於ては例の中央銀行を新設すること〻なるべく當國の金融界に一大革命を來すこと〻なるべし右の次第なるを以て當地支店支配人[illegible]氏は本日東京に赴きて同行總會に臨ます當地に於て[illegible]運動に從事中なりと云ふ

●同志會政談大演說會（近來稀に見る盛會）　過日當局者が統監府令を以て發したる民長官選問題は端なくも在韓居留民の激昂を招び爾來喧々囂々として[illegible]一般民間の新聞紙は筆劍を磨して堂々の陣を張り[illegible]樹て正論讜議克く[illegible]し以て[illegible]戾なるを掊難攻擊[illegible]地の民團議員側にても之が撤回の申請書を副統監に[illegible]以て堅確にして[illegible]底官憲一片の[illegible]からざる形勢を[illegible]時は是れ七月三十日午後五時を過ぐる少許霖雨霏々として降りしきり滿街の泥濘恰も田の如くなるを冒して三好町なる歌舞伎座を目指して押し掛くるもの[illegible]らず果ては場外までも[illegible]又人の黑山を築き壯大なる光景は是れ[illegible]して何等の集會ぞ…之れ言ふ迄もなく[illegible]て京仁五新聞（御用紙を除く）を以て通告し出されたる「同志政談大演說會」の光景なり[illegible]れも五新聞中の有力記者盡し今回の民長官選問題に就ての反對意見を述べ[illegible]或は輕快の辯舌々他を驚かし或は[illegible]の辯堂々敵の肺腑を衝き或は異[illegible]して陰々異に迫らしむるもの[illegible]の響一時は四壁を墜さん許りの[illegible]今左に順を追つて之が光景を左に述ぶべし

▲山道亞川　大韓日報の記者たる同氏は[illegible]手喝采に迎へられ毅然として演壇に現はれたり氏は開口マツ開會の辭を述べ問題「不法なる統監府」に移り滔々語繼々として些の淀みなき辯舌は[illegible]よく其の論旨と相俟つて幾に聽衆を感動せしめたり而して氏が論議とする所は第一法律上より觀察して民長官選の不法なる事を述べ第二民團の經濟上より推測して其の民團御用紙の如く民長の給料決して[illegible]らざるを說き第三は事實上より[illegible]選の到底不可能なるを論じ且つ京城日報に痛快なる一擊を加へ[illegible]り

▲加瀨梧堂　「恐なる統監府」は氏が其の題目とする所其の擧實にして而も愛嬌ある何となく聽衆を嬉ばしめたり說官撰なるものは世界廣しと雖も他に例なく且つ移民地に於ける政策が古往今來何れの國に於て來せしことなく佛國の干涉主義を引證比較して其の前者が[illegible]終りしこと後者が優に成効の美果を收めつゝあるを述べて今回の民長官選の不可を滔々論駁して壇を下りたり

▲[illegible]尾旭邦　は新聞記者にあらざるも雜誌「朝鮮」の記者として倶に共に言論界に貢獻の存ずるに於ては敢て其の異あるなし氏は「ヨボ化せんと」なる題下に忌憚なくた役人を[illegible]の所謂人民なるものにも與みせ[illegible]を發し且つ官民を擧げてヨボ化の昨今の狀態はまことに浩嘆に堪[illegible]說き結局官民和衷協同して韓國の[illegible]常られんことを述べたりしが往[illegible]の諸謔的にして聽衆をして覺に[illegible]むるものありたるは確かに當夜の[illegible]もいふべし

▲今井忠雄　前辯士の後を襲ひて演壇に立ちたる氏は確かに其の眉宇の間一[illegible]からざる深刻の氣の閃くものあり聽衆は紹介を俟つて初めて朝鮮の[illegible]幹としての氏たるを知れるもの[illegible]も知る者は知り居れど）又其の「[illegible]居留民團の危機」てふ鬼氣ある[illegible]たる文字に當然として容を正うする[illegible]り氏は明斷なる音聲と熱烈なる[illegible]以て開口マツ民團の危機は既に業に脫却して今は死に瀕したりとの辛辣なる前提の下に居留民が二十年來苦心經營し居留地の隆盛と沿革とが今に於て片々たる一紙片の統監府令の爲めに根本より破壞され紛亂されんとすることの[illegible]慨に堪へざること及び吾人は法律上自由の權利を有するものなるを以てもし之が官撰の撤回にして行はれずんば如何なる手段に訴ふるも敢て辭する所にあらずタトヒ血を見肉を飛ばすに至るも敢然奮鬪を持續すべしと極めて痛快にして剴切なる言辭を弄して降壇せしが論極めて過激にして大膽なりし爲め二回迄警官の注意を蒙りたり

▲戶叶民堂　沈着なる態度と爽快なる音調とは氏が演壇に起つての異彩なり氏は登壇早々割るゝ如き拍手の裡に迎へらるゝや開口マツ吾人居留民は母國に於ける立憲政治の民として海外に躍動するもの、さるにも拘はらず暴戾なる統監政治は吾人を羈つて無理無體に專制の權命に服從せしめんとす、恐も亦極まれりといふべし官憲の力のみを以て事を爲し毫も民意の適從する所を省みざる如きは是れ言ふ迄もなく專制政治なり且つ近頃理事官の發布せる個條文中に新聞紙は强ち輿論の代表者にあらずといふものあるも思ふに之れ或は然らん然れども新聞紙の言論は少なくとも輿論に近きものなることは敢て爰に斷言して憚からざる所なりと喝破し來りて意氣軒昂而も一言々精勁にして鋒氣を帶び句々雄渾にして牢騷の質を寓するものありしには滿場の聽衆恰かも醉へるが如かりき而して氏の演題は「民長官選の不當と今後の方針」是れなり、次に

▲峰岸繁太郎　の登壇を迎ゆたり、同氏は「臨機應變」なる題目の下に縷々諄々約四十分間に亘る長演說を試みられたり氏の演說終つて山道亞川氏再び演壇に登り左の決議文を朗讀し十一時頃散會したりしが聽衆無慮一千五百餘名近來に稀なる盛況を呈したり

決議文

吾人は今回統監が發したる民長官選の府令は絕對に不法なるものと認め此れが撤廢を期するため左の決議を爲す

一各民團に飛檄し民長官撰に反對するため一致の行動を執る事
一統監府が民長官選の府令を撤廢せざるときは各民團議員に辭職を促し最後の手段に訴ふる事
一京城日報は吾人居留民團を侮辱したるものと認む

●英文御用紙の社說（民長官撰廢止の熱望）（京城日報との相違）

昨三十一日發行のソウルプレスは民長官撰問題に就き特に社說を揭げ詳論したり而して其社說中に曰く大邱龍山元山等の民團に於て民長選擧に關し混雜と弊害とを現わしたるは事實なり而れども此ありたるが爲に京城釜山仁川等の如き何等故障を生ぜざる民團にまで目下問題となり居る退步的手段を其儘實行するの不可なるを思はずんばあらず而して寧ろ必要なるは今後各理事官が民團事務の監督上有効に其職權を使用するに有り、若しも統監府が民長官撰に關する府令を此際直ちに撤廢すること能はずとせば切めては成機會を見出し居留民に向つて民長選擧の權を還付せんことを熱心に希望するものなりと云々

●委員の副統監訪問（申請）

民團議員十七名は一昨日連署を以て民長官撰問題に關し其の筋に向つて之が府令の撤回を申請したることは既に報せし通りなるが議員間にては何は昨日六名の委員（中村再造、古城貫堂、和田常一、山口太兵衛、曾我勉、中島司馬之助）を撰び午前十一時副統監を訪ひ前日の申請書の趣旨を布衍し下の如き意味に就て陳請する所ありたり尤も會統監には差し障る所あり石塚參與官代理として面會したりと「一、最初居留地二十餘年來の沿革實蹟を詳述し官撰民長と民撰民長との利害の比較經濟上の關係議員の立場及改官撰後免るべからざる紛擾等を懸想して陳述餘すところなく且つ何等の忌憚なく二時間に亘りて交々述ぶる所ありたりしが其の際石塚參與官の答ふる所は兎も角も當局に於ても篤と審議し置くべけれど昨今承知の如く統監には歸京中なるを以て一應統監に照會し其の結果何分の返辭に及ぶべし」との事なりしといふ

●又々鐵道不通

一昨夜の豪雨の爲め又々鐵道線路に損害を生じ京釜京仁兩線とも列車不通となりたるが京釜線の被害個所は振威平澤間、天安成歡間にして昨日釜山發急行列車より不通となりたり京仁線は素砂富平間にて之又同一番列車より不通となりたれば管理局に於ては應急修理を加へ京仁線は昨日午後二時五十分仁川發の列車より開通し京釜線は本日夜行より開通することゝなりたり

●京義線開通

過日來の豪雨の爲め暫く不通となり居れる京義鐵道は應急修築を終り今朝より開通するに至りたるがたゞ臨津江は未だ架橋復舊せず乘替連接する事となせりと云ふ

●韓官辭令　三十日附

任內部技師敍奏任官二等　磯田勇吉
任開城郡守敍奏任官四等　前郡守　鄭在學
任淸安郡守同　同　權丙弼
任新寧郡守同　同　徐丙玉
任漆谷郡守同　同　朴海齡
任永安郡守同　同　尹瑛燮
任豐基郡守同　同　權丙宣
任長鬐郡守同　同　金永鎭
任文義郡守同　農商工部主事　吳永田
任黃㵎郡守同　前副尉　中島休
任英陽郡守同　前主事　尹弼五
任春川郡守同　道主事　李宜春
任義興郡守同　郡主事　金翰殷
任慈城郡守敍奏任官三等　鏡城郡守　尹錫弼
任鏡城郡守同上　江界郡守　金用來
任江界郡守同上　宣川郡守　俞鎭浩
任宣川郡守同上　道事務官　[illegible]
漢城裁判所檢事　柳東作

任判事
平理院判事　[illegible]
漢城裁判所判事　[illegible]
平理院判事　[illegible]
同上　[illegible]
任檢事
平理院檢事　[illegible]
平理院判事　金基肇
漢城裁判所判事　沈相翊

●韓人靑年會　在東京韓人靑年の爲に今回新たに基督敎靑年會創設せらるゝ由なり而して右に要する費用の中七千圓は外人の寄附に依て得られたる由なり

●近事片々

▲民長　官選問題に就て演說會一昨夜開かる降雨泥濘にも拘らず傍聽者滿場に溢る
▲滿場　立錐の地なく場外に立ちもの[illegible]
▲名辯　士の熱心に民長官選の非を鳴らす如何に輿論が此問題に傾けるかを知るべし
▲[illegible]や其都度拍手急霰す輿論の有る所知るべし
▲如何　に官憲と雖も此形勢を見ては權力を以て强行する能はざるべし撤回が穩當也
▲僅に　撰擧に弊害ある位の事を廉に突然發令し平地に波瀾を起すは餘り大人氣なし
▲伊藤　統監韓太子と共に東海道及近畿地方の歷史ある所を觀察の爲近々旅行せらる
▲伊藤　公僅に太子太師の任を盡せるものに非ず老公夏期の休養には恰好の行樂なり
▲破道　の山水尾三の平原歷史上有名なる古戰場多し韓太子を啓發する所必ず多からん
▲尾三　の野は我歷史の誇りとする豐臣秀吉德川家康の生地惟に韓太子を感せしめん
▲鎌倉　に賴朝を聞き小田原に北條早雲を聞き駿河に義元を聞かば如何なる感かある
▲岡崎　に家康の幼稚竹千代時代辛苦具さに嘗めたる來歷を聞かば感動更に深からん
▲矢矧　橋上日吉丸が蜂須賀小六を說て與とする奇行には無上の興味を感ずべし
▲名古　屋に信長の精悍雄武と一時天下を掌握したる物語は年少氣銳の太子喜ばせむ
▲黃金　の鯱を上げたる名古屋城を見て加藤肥州の築城術の精緻を聞くも面白からん
▲關ケ　原にて芭蕉の「夏草やつはもの共の夢の跡」の俳句を見て古戰場に對するも可
▲同時　に竹千代の開運終に此一戰に因て征夷大將軍となれる經歷は更に興味深からん
▲若し　關西鐵道に依り大廟に詣でらるれば其神威の壯嚴なるに必ず敬虔の念起さん
▲笠置　の山霞を經過しては後醍醐帝の昔偲ばれてはゆかしき心地自ら湧き來るべし
▲奈良　に入りて春日神社無數の鹿大佛の巨大なる儘に韓太子の欣悅し玉ふや必せり
▲奈良　附近名所古跡多し到る所太子の目を喜ばす者多し此行樂必ず益する所あらん
▲更に　浪華を經て京都に到らば更に觀光に價ひするもの多し太子の喜悅知るべき耳
▲吉野　に登りて小楠公の事を聞き湊川にて楠公父子訣別の哀史を併せば感慨せん乎
▲如斯　我朝の歷史を詳にすれば韓國の日本に對する誤解は更に氷解するに至らん乎

雜報

●鏡北の暴徒

北韓の暴徒に就ては前號に記せしが今其筋に着したる報に依れば咸鏡北道は韓國の他道に比し暴徒の禍亂に遭遇する事少く平穏の地なりしが七月上旬約百名の暴徒は豆滿江對岸の地より渡江して飯山附近に現はれ當時附近を搜索中なりし我守備隊の斥候を襲ひて之に損害を與へ次で十日未明約百の賊は我新阿山守備隊を襲ひたり同隊は之れと交戰の後突破して所屬中隊に歸還せり越へて十二日我斥候は新阿山西方の地に於て員數不明の賊に出會し當時古乾原にありし我小隊は直ちに之を討伐潰走せしめたり爾後討伐搜索は盛んに行はれ殆んど暴徒行動の餘地なきに至り遂に四散せしもの〻如く我討伐隊は十九、二十の兩日約五六十の賊に出會して之を潰走せしめ賊の三名を殘し五名を捕へ彈藥其他物品を鹵獲せし外遺過することを得ず又討伐行動地方は樹木鬱蒼たる山地にして濃霧之を蔽ひ咫尺を辨せざる状況にして賊の損害等も不明なりと

●谷山通信

▲地勢 谷山は黄海道の東北端に位し至る所山岳重疊し道路最も險惡にして僅かに牛馬を通ずるに過ぎず京義線新幕驛を距る十六里元山港を北に距る三十里の山間の僻邑なれば文明の程度最も低く人民は昔時を夢み古來の風習を守り居れり▲暴徒 客年十月以後本年五月下旬頃迄は暴徒の跋扈甚だしかりしも一時避難せしもの二百に上り人心恟々として其堵に安んぜざりしが爲め一時農商工とも不振を來せしも守備兵增加により漸次其跡を絶ち目下十二三名の強盜的匪賊の徘徊するのみなるを以て各自其堵に安んじて業務に從ひ居れり▲官衙戸數 官署としては郡衙稅務署郵便取扱所巡查派出所等なり戸數は七百七十三戸人口二千九百九十八名あり内日本人男八人女三人にして官吏の外雜貨商一戸あり▲職業及物產 邑民は主に農業に從事し商人としては雜貨商を主なるものとす魚類(乾物)は元山より馬背に依りて運搬し郡内の重要物產たる煙草も同樣にて開城方面へ輸出し其他の物資は平壤より大同江及び其支流に由りて輸出入をなし居れり而して本支流とも邑内を距る約三里の文城鎭迄舟運の便ありて將來有望の地なり產物としては煙草を主とし米麥粟之に次ぐ米價は目下一升(韓升)三十四錢人民は常食として粟、蕎麥等を用ふ▲衞生 に就ては駐在所より邑内の清潔法を强行してより其面目を一新せしに憲兵隊配置後は之れと協力して勵行に勉めし結果一層清潔となれり▲教育 は各部落とも守小屋の如きもの耶蘇教徒の經營せる耶蘇學校、天道教徒の樂英學校等あり郡守は業業學校の設旋に心を碎け校舍を加へし爲め稍其面目を一新し追々日本人教師を傭聘し教育の普及を謀らんと計畫中なり生徒は現今百三十名なり▲流通貨幣 は舊白銅最も多く流通し舊日本一圓銀貨は殆んど其跡を絶てりと云ふも大過なかるべし

●一昨夜の豪雨

一昨日の天候は西南の風吹き降りみ降らず定めなかりしが午後九時頃よりは霧の如き小雨降りしも同十一時過ぎに至り俄然として降り出し雨は恰かも盆を覆へすが如く軒より落つる雨水は瀧かと疑はれ之に風さへ加はりたれば其物凄きこと云はん方なく泥峴通りも一時は通行者杜絶へたる有樣なりし之れが爲め先日の浸潤したる土盤の如き何れも多大の損害を受けたるが龍山市街は先日の洪水未だ減水せざるに昨夜來の豪雨に更に浸水家屋を增加し一時避難せし避難民も又々避難するの已を得ざるに至り慘狀を極めおれり

●昨夜來の雨害

久しく降り續く雨に何處も〳〵損害起り誰れも澁面の一昨日はちと雲切れて日の光りも見えたれば既う上天氣ならんと思ひしに昨朝は小石を投ぐる亂打亂雨に目覺されたる程なるが別けて西署管内の損害は浸水の爲め日人家屋三十一戸損害見積高三十一圓韓人家屋五十二戸損害見積二十二圓なりといふ七時頃より減水したれば漸次後片付けにかゝりたり

●去年の本月本日

去年の本月本日は軍隊解散の騷動勃發せられ之れが解散をなすに當り南大門内の侍衞隊謀叛を企て爲めに南大門の市街戰となり小銃機關銃の音響は淫雨蕭々として降り頻る京城の天地を震撼せしめたり此役に於て梶原大尉以下名譽の戰死をなしたり現今京城高等女學校の校舍に殘れる彈痕は當時を追懷する好個の紀念にあらずや

●龍岡沖の海賊

平安北道鐵山郡望東浦鄭元伯所有支那ジャンク海倉號は鎭南浦より望東浦に向け航行中平安南道龍岡郡の沖合に差掛るや鎭南浦方面より三名の日本人乘り込みたる日本形漁船海倉號に漕ぎ寄せ二名の日本人は直ちに海倉號に乘り移り日本刀を閃かして船夫等を脅迫し金品を强奪して逃走したりと此海賊は多分鎭南浦附近の日本漁夫ならんと目下搜索中なりと云ふ

●警官を打る不埒者

東京市神田區十九番地現住所京城長谷川町二丁目江川活版所雇員並川昌成(二十)なるものは昨日午後四時頃同町の左側を通行するより見張巡查は右側へ右側へと注意するも其步行を改むるの狀なかりし故取調べんとするや昌成早口に何事をか一事二事したる揚句所持せる傘にて警官の胸部を毆きたるまゝ逃げ去る不埒の大馬鹿者お逃すべき向ふより來掛れる憲兵に引捕へられ本署に引致し嚴重に說諭の上放還されたり

●此處で逢つたが百年目

永樂町三丁目五十七戸料理屋淸華亭の主人大上宗一の雇傘一本何時しか行衞不明となつてより指折數ふれば丁度四ヶ月此方の宗一は素より妹のカツ始め雇の下女や藝妓に至るまで三味や太鼓で搜して見ても皆暮れ行衞知れざりしが一昨日圖らずも永樂町にて自分の傘を我物そうに指翳し行く韓人李壽逸なる者に出會したが宗一は數十日間尋ねあぐんだ我傘に此處で逢つたが百年目巳れ我傘を誘拐した不屆者と右の韓人に向ひ俺れ雨傘を此方に渡せと威猛高になつて引たくらんとせしに此の傘は南大門の酒店にて何處の人か知らねど大枚三十五錢にて買受けて今日まで養ひ育てたるものなりと云へは宗一も今までの勢ひも拔け果し唯た茫然たるばかりなたしを妹のカツ二十五錢の養育料を奮發して四ヶ月目に產みの親に對面したりとは目出度く〳〵

●倒木人を傷く

去る二十九日のことなりし東部區毛坊陳伐里にて林召史(六十)鄭召史(二十)の兩韓婦人が松葉を拾ひ居りし際折柄の强風に大松木倒れたる爲め何かは堪るべき兩人は其下敷きとなつて重傷を受けたりと云ふ

●借金の爲め身を捨つ

東署仁昌坊上甘井洞居住徐楠煥(五十八)は去る二十九日午前九時自宅に於て多量の阿片を吸飮し死亡したりしが之れが原因は多額の借金の爲め首も廻らぬ次第となり債權者より督促に堪へず遂に右の如き無分別のことをしたるものなりと

●韓人の喧嘩

昨日午後五時美洞通り三八號賣屋の横道にて小廣橋下茶洞二十二戸麵業李鳳奎方雇人吳元楨(三十)及同方雇人金慶雲(三十)の兩人が血眼になつての摑み合ひ居りし所に巡回警官通掛り取調べたるに喧嘩の原因は金が常に吳に向つて田舍者と罵倒したるにムクムクしてゐる虫が承知せず其時に惡くも飲んだ酒がまはつて狂ひ出したりといふど分り懇々說諭の上放還されたり

●醉倒れ

一昨日午後八時明洞派出所警官が巡回中一人の韓人泥中に横倒のまゝ殆んど人事不省の有樣にて吐く息のみは酒氣鼻を殺ぐが如くさては醉の覺むるまでと一夜を警察署に止め翌朝懇々說諭の上六時放還されたり

●落花狼藉

昨日午前十時青波七番地飲食店中根幸吉方裏座敷の四疊半人目を憚らぬ花の香いつも料理屋の習いとて朝遲かるべき筈なるに早々から面白き音もあるものかなと巡回巡查は職掌柄拔目なく現場見物けて踏込めば不意を食つて大狼狽然れど三方壁のことだれば逃ぐるに道なく茲に見事取押へなるが原籍は靜岡縣靜岡市下石町一丁目四番地平民無職當時同店雇人荻原彌市(二十八)一名は熊本縣天草郡本渡村字下町番地不詳平民同店滯在なりといふ森田ノサ(十九)なる兩名にして花札と共に警察署へ引致せらる

●名物に暴風雨

昨朝九時頃の亂れ雨風に狂つての横打ちに行き來の人々は眉を遮めて其處の軒に一人此所の軒に二人といよ〳〵漏々雨に困つた外に只一人何處の乙女か急ぐ妻先きの裾亂るゝも氣にせず横目にさした傘の柄をしつかと計りに握りしめ恨みは見ねねど惜さや此の暴し雨と風とが邪魔をする嬲るのかヱーエと次第と早むる足許にトンと躓く小石の一つふとくもあらねば惜氣もなきに之れは何んとした鼻緖がプッリ踏みしめた片足に横樣に倒れはせざりしが一步は泥に泥々されし惜しきやなど止まりたる人も來る人も行く人も一齊に眼をやれるこそ一輪惜まれたりと言ふべきか

●腸窒扶斯

京城本町六丁目六十六番戸松岡仲六(六十)は三拾日に獨立門通二丁目齊木孝德(三十七)は三十日に何れも腸窒扶斯に罹り大韓醫院に送らる

●日曜奏樂

明二日午後七時より例の通り和城臺公園にて演奏あり曲目左の如し

一、行進曲 オーロラ アンラット作
一、歌劇 アイルランド 不詳
一、長唄 老松 軍樂隊作
一、マジュルカ チエ、ドロップ 永井樂長作
一、俗曲集 軍用靴 軍樂隊作
一、舞曲 ケーキ、ウオーク オルジユマン作

●本願寺の說教

南山別院にては土曜に付き例の通り午後八時半より說教あり

●眼科醫の開業

漢城病院眼科部長たりし醫學得業士江頭富雄氏は今回同院を辭し本町一丁目郵便局前に於て開業し一般患者の診療に應ずる由なり

(平)(民)(文)(庫)

五新聞社合同の政談演說會は我々に對して非常に利益を與へたのみならず官撰民長府令の暴横なる所を指摘されたのは大に感謝の意を表する所である然るに觸れ出しは五新聞社と云ふことであつたが朝鮮新報社の人は見なかつたが何か理由でもあつたのでしようか(居留民の一人)▲近頃の雨で漢江の水汜濫し龍山は水の町になつてるが遭難者の困難は實に同情に堪へない次第であるが世の仁人義士は龍山遭難者の爲め義捐金を募集しては如何(同情者)▲木覓山仙人からこんな狂歌じみたものが舞ひ込んで來た「不禮なり役人どもの横着さ自分勝手の府令呼はり」(編輯小僧)▲手紙を見た人商店男櫻州に就ての筆戰は止めよ元來娼妓は俗界鼠輩の玩弄物で銅臭の多寡に依りて媚の輕重を呈するものだ手紙を見た人大に振つたらうが振れたナ商店男は一夜の御情に預て隨喜の涙をこぼしたであらう〳〵俗物〳〵(吉村放浪生)



●天氣豫報(自卅一日午後六時 至一日午後六時)

南又は西の風曇

三十一日午前六時各地氣象概況 今朝一小低氣壓が黄海北部に存す此れを以て京仁地方は風雨强し

廣告

工事請負入札公告

一 工場内機械据付基礎工事

此入札保證金入札金額ノ百分五以上入札者ハ二年以上引續キ建築業ニ從事スルモノニ限ル

右競爭入札希望ノ者ハ本局經理課ニ就キ入札人心得書契約書案及圖面等熟覽ノ上來ル八月十七日午前十時限リ入札スヘシ但即時開札此契約ハ印刷局長金榮漢擔任ス

隆熙二年七月三十一日

龍山 印刷局

開業廣告

今般漢城病院眼科部長を辭し八月一日より左の所に開業す

京城本町一丁目郵便局前 醫學得業士 江頭富雄



羅文の身上話（四）

◎兒玉將軍と汽車の道中

…せ妾は兒玉さんの側に腰を掛けました
…お話は此れからです。
…へ〳〵やア歳では宜かつたのですが汽車
…せた將軍をづかうにも香の物の甘しい
…樣子ちやといふので我樂からりツ〳〵
…人食堂に轉に小さし切つて竹の皮に包ん
…パンに入れて持つて参りましたのです、
…と皆樣が食事を召上らうてんで座を
…立ちになるイチもやられ前も一所に行
…れのでじやアって下さいますので妾も食堂
…お供をいたし洋食を濟まして其處から
…の寢臺へ引ッ返し何の氣なしに腰を下す
…ないうちに石黑（軍醫總監）さん竹の
…皮で日本國特の澤庵も亦妙だらうとそれ
…を兩手に差し上げまして、オイ諸君、洋
…しやつて笑つて居らつしやるのでしよう
…るさんは巳知らん顔を云ふ顔をして外向ひ
…らつしやるのですハッと思つて側に置い
…パンを見るとパックリ口を開いたなり
…の喰ひ殺と來ばかりが底の方に見ね樣
なつてゐるかつて居るおやアありません
…これいでの何方にした所で竹の皮に
…んだ澤庵漬をワザ〳〵れ持ちになる樣な
…は一人だッてムいませんから此れは直き
お持つて來たんだナといふ鑑定は付いツ
…いますア所へもつて來て皆なれ人が澤
…方達ばかりだから堪りません、ヨー〳〵
…此りやア妙々なんてれつしやつてワア
〳〵ッてれ笑になるのです、難ぢやアあり
ませんか何か仇を取つてやりたいと思いま
したが録の舞台ですから宜い考も浮びませ
ん其うちに鳥渡思ひ付いたからサモ〳〵大
事そうに立ち上つて大疑を々此の室には又
りが居ますよ妾が此カバンの中に入れて來
た千圓の紙幣が無くなつちまいました若し
兒玉さん貴君ぢやアありませんかッて怒聲
つてやりました、口惜しいから……
澤庵漬とスリの騷ぎで其一等室は大陽氣に
なりました御酒の好物な方はコップを手に
なすつてはグビ〳〵召し上つて居らッしや
る議話に花が咲いて汽車雖中も此れならチ
ットも苦になりませんでしたが何といつて
も遠路の事でムいます醉つた方から先づ横
になり遊ばしれ一人かられ二人といふ鹽
梅に皆樣の中大概はウッラ〳〵それ眠にな
りまして……兒玉さんはナカ〳〵れ目が固
ふッて入らッしやるので妾は種々談話の對
手を致して居ましたがフト妾と向ひ合せの
雨宮（敬二郎）さんのれ姿を見ると宜い工合
に汽車が搖れるものですから腰掛けに斯脚
を曲げて身體をもたせ掛け襟を開けひろげ
てれ羽織が肩からすべり落ちそうになつて
あのれヘコット結んだ紐で止まつてるといふ
有樣をの寢れ顏がといふと仰むき氣味の口
アングリでせう。